



## 平成24年度 学びの「総合力・体験力」コンテスト結果について

2013年3月8日(金)発行

本年度実施された「学びの『総合力・体験力』コンテスト」では、9市町村から17点の応募がありました。教育事務所で選考し、5点を千葉県教育庁教育振興部指導課に推薦しました。

その中で、いすみ市立古沢小学校 佐藤より子先生の「3年総合的な学習の時間ふるさと学習」が優秀賞に選ばれました。おめでとうございます。

応募いただいた各学校、市町村教育委員会には、感謝申し上げます。前年度に比べて、応募作品も増えてきました。次年度は、管内全市町村教育委員会からの応募をよろしく願いいたします。



## 生徒指導の3つの機能を生かした授業づくりを



授業では知識や技能を身に付けさせるのはもちろんですが、「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的人間関係を育成する」生徒指導の3つの機能を生かして児童生徒に働きかけ、やる気を引き出すことも大切です。全ての児童生徒に【番】を与える授業を行えば、子どもの姿勢は変わってきます。

本年度、訪問で参観した授業から見た改善の視点を以下に記します。自己チェックをしてみてください。

### ①やる気を起こさせる授業

- ほめて、認める
- わくわく感やドキドキ感がある
- 分かる授業である
  - ※「明日も〇〇の授業をやりたい」という声がでるとよい
- 目標を少し高めに設定する
  - ※「もっとがんばりたい」という気持ちをもたせられたらよい

### ②考える場面や時間を確保した授業

- 考える場面や時間を確保する
- 「できた」「分かった」という声が聞こえる
- 一人一人の課題がはっきりしている
- 早く終わった子には個別の支援や手立てがある

### ③充実した話し合い活動や積極的な発言のある授業

- 互いに認め合う
  - ※他からの刺激で変容することがある
- 自分の考えをしっかりと伝える
- 相手の考えを率直に受け入れる
- 積極的に発言する
  - ※「教室は間違えるところだ」という考えを共有する

## 『東上総の教育』をご活用ください

本年度は学校現場で活用しやすいように内容を工夫し、**本文を保存したCDもあわせて配付**できるようにしました。次年度4月の第1回校長会議で配付しますので、ご活用ください。



## 文部科学大臣表彰受賞

優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進にかかる文部科学大臣表彰を白子町立南白亀小学校の「南白亀っ子元気アップ・プラン大作戦」が受賞しました。

学校栄養職員による食育授業の実践や町の生活改善委員による家庭教育学級での親子調理講座の実施などの活動が認められました。

おめでとうございます。



学校現場に役立つ！  
情報サーチ  
連載⑤

## いじめに関する校内研修ツール

文部科学省から出された「平成18年以降のいじめ等に関する主な通知文と関連資料」の中に、「いじめに関する自己点検シート」があります。校内研修等で実施して自分自身の指導を振り返ってみてください。冊子は各学校に配付されています。また、文部科学省のHPからもダウンロードできます。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/seitoshidou/1302904.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1302904.htm)



## 今年度の長期研修生(9名)と千葉大学大学院派遣長期研修生(1名)にうかがいました!

千葉県では、現職教員に対し、学校現場を離れて長期間の研修機会を与え、県・地区のリーダーとして本県教育の推進者となる人材を育成することを目的に、長期研修を実施しています。東上総管内では、今年度9名の小・中学校の教諭が長期研修を行いました。また、昨年度より1名が千葉大学大学院派遣長期研修生として、2年間研修を行いました。



- ① 氏名 所属 研究領域
  - ② 研究テーマ
  - ③ 研究概要(成果等)
- 3つの事項に関して、お答えいただきました。



### 【平成24年度 長期研修生】

- ① 常世田伸吾 茂原市立茂原小学校 国語
- ② 自ら解釈し文学を楽しむ子どもを育てる読書指導の研究
- ③ 今までに教科書で出会った作家に注目して多読し、その特徴や作風、意図や効果について「作品研究ブック」にまとめる学習を通して、自ら解釈する力と読み方を工夫する力を育むことができました。

- ① 齋藤留美子 東金市立鴫嶺小学校 特別活動
- ② 個を育てるコミュニケーション能力の育成—「防災」に関する話し合い活動と評価活動の工夫を通して—
- ③ 少人数での話し合い、振り返りカードの工夫を手立てとして雰囲気作りを重視した話し合い活動を行いました。課題を意識した活動ができ、個に応じた協同して対話する能力を育むことができました。

- ① 石橋真人 東金市立正気小学校 学校人権教育
- ② 児童の人権意識の発達を目指した単元開発—いじめの防止と解決への行動化を促す指導プラン—
- ③ いじめを描いた絵本を活用し、いじめの構造でのそれぞれの立場の気持ちやいじめの防止・解決に向けて考えることを考えさせました。その結果、いじめへの理解を深め、人権意識を高めることができました。

- ① 椎名大和 東金市立東小学校 生徒指導・教育相談
- ② 高学年学級担任の開発的(発達援助的)教育相談に関する一考察—中学校進学を見通した学級担任の芸(Art)に着目して—
- ③ 山武郡市内の先生方に学級経営に関する面接を行った結果を分類・考察しました。高学年の学級経営は、自我の育成のために(1)内省する力(2)自己責任能力(3)見通す力が重要であることがわかりました。

- ① 藤川由美子 山武市立大平小学校 音楽
- ② 鑑賞と音楽づくりの関連を図った指導の工夫—祭りばやしを通して—
- ③ 鑑賞と音楽づくりの関連を図り、興味・関心を高める鑑賞教材の選択、指導方法、学習内容の工夫を追究しました。その結果、児童は自分の思いや意図をもった音楽づくりをすることができました。

- ① 岩元真由美 勝浦市立興津小学校 図画工作
- ② よさや美しさを感じ取り豊かな心を育む造形教育の在り方—型紙とのかかわりを通して—
- ③ 造形要素を意識させ、型紙の鑑賞や表現を行い、よさや美しさを味わわせました。課題追究において、活動の視点を明確にしたり、伝え合いの場を設けたりすることで、お互いを思いやる様子が見られました。

- ① 佐藤信之 茂原市立西陵中学校 英語
- ② 生徒が主体的に自己表現するためのタスク活動の工夫—Picture Description(写真・絵の描写)活動を通して
- ③ 写真・絵の内容を描写するタスク活動をペア・グループを中心に行いました。その結果、写真や絵が視覚補助となり、学び合いを通して生徒が主体的に自己実現する力の育成につながりました。

- ① 宇野友美 茂原市立豊田小学校 特別支援教育
- ② 通常学級の算数におけるユニバーサルデザインの授業づくりの在り方
- ③ 複線化、ユニット化、動く・選ぶ場面など五つの支援事項を設定し、その有用性を検証しました。児童の理解度・参加度が高められたことから、事例児だけでなく、学級全体への有用性が認められました。

- ① 高橋繁江 勝浦市立北中学校 教育臨床
- ② 不適応児童生徒に対する学校の支援のあり方を探る
- ③ 各学校の事例検討により、児童生徒への支援には「つながり」が大切であり、その質に4つの柱があがりました。固定観念にとらわれず、違った視点を得ることで問題を多面的に捉えることができました。

### 【平成23・24年度 千葉大学大学院派遣長期研修生】

- ① 高橋直美 大網白里市立白里中学校 英語
- ② カルタ教材のスパイラルな活用を通じた小学校外国語活動と中学校英語教育の連携
- ③ 小学校の「Hi, friends!」、中学校の検定教科書を補完するカルタ教材「都道府県カルタ」「世界の国々カルタ」を開発し、小5~中3の各学年で実践したところ、技能面・情意面で効果が得られました。

## ご愛読ありがとうございました。



早いもので、今年度も残りあとわずかです。「教育事務所だより」も、今号が最終号となりました。次年度以降も、より充実した紙面作りに努めます。

一年間のご愛読ありがとうございました。